

園名：すぎなみのぞみ保育園

活動日時：2024. 5. 29 10時～

1. 活動テーマ

<テーマ>

5歳児 植物（種）

<テーマ設定理由>

今回は子どもの姉からもらったアサガオの種を部屋の見えるところにおいておいたところ『これなに?』と興味を持ったのでテーマにした。

2. 活動スケジュール

クラス5名で行った。
種を触ったり、見たり、描いたり、話したりする

3. 活動の為に準備した素材や道具、環境の設定

種
ちいさめの画用紙
えんぴつ、虫眼鏡、図鑑
机、いす
話ができる落ち着いた雰囲気にする。

4. 探究活動の実践

<活動内容>

事前にみたり触ったりできるように、部屋の壁にビニールの袋に入れて貼っておいた。
種を持ってきた子どもからどのような経緯で持ってきてくれたのか話を聞く。
実際に触ってみたり、ちからをいれてかたさを知ったり、においをかいだりする。
虫眼鏡をつかって種をみて、ちいさめの画用紙に描いてみる。



虫眼鏡ははじめてだったので、まずは虫眼鏡に興味する姿がみられた。

子どもたちが虫眼鏡に興味を持ったことを大切にし、しばらくの間様子をみた。

身近にある、えんぴつや玩具を虫眼鏡でみて、大きく見えることを互いに知らせあっている。また、友だちの顔をみて見え方で笑いあう姿もあった。

「これは〇〇ちゃんのお姉ちゃんがくれたんだよね」

「そうだよ、学校で育てた種をくれたんだ」

「どこに植える？」

「かたいね」

「これが咲くの？」→どうかな？植えてみる？と提案してみる。

「うん、玄関がいい」→そうだね。あさがおはつるがのびるから植木鉢がいいと思うんだけどどうかな？

「なんかへんなかたちだね」

「ねずみのうんちみたいだ」

「そうだね、ねずみのうんちだ」

等々の会話をしながら画用紙に種を描いてみる。

種を紙のうえに置いてなぞる姿もある。その時にも形についての感想を話していた。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

あさがおの小さな種から子どもたちが感じたり、知ったりすることがたくさんあり、5人で自由に会話をしながら活動をすることで、自分の気づきを伝えたり、自分の知識を知ってもらうことで自信にもつながると感じた。

種をじっくりとみることやふれることで、かたさやかたちに興味を持って見ていた。そして、その種を次にどうしたいかということにもつながっていった。こちらの言葉がけで子どもたちの考えをもう少し引き出すようにできたらよかった。かたちについては感じたことを口に出すことで、楽しい雰囲気で会話がひろがっていった。コミュニケーションを取る楽しさにもつながっていき、多方面へのよい活動になったと感じた。少人数で時間や気持ちに余裕を持つことで子どもたちの気づきに共感し、疑問に思っていることや感じたことにこちらも気づくことができた。